

(工学部・工学研究科)  
公益財団法人日本国際教育支援会  
「令和2(2020年)年度JEES留学生奨学金(修学)」の募集

2020. 3. 18

## 1 応募資格・・・以下のすべてに該当する私費外国人留学生(在留資格「留学」)

- 1) 令和2年4月現在において、学部2年次以上または大学院正規課程に在籍する者で現課程の残在学期間が1年以上の者
- 2) 令和2年度4月以降、月額5万円を超える他の奨学金を受給しない者。
- 3) 学業成績が優秀である者(前年度の成績評価係数2.6以上)

※ [(優・Aの単位数×3)+(良・B×2)+(可・C×1)]/総取得単位数

## 2 支給額および支給期間

月額40,000円 令和2年4月～最長2年間 (ただし正規の最短修業年限内)

## 3 推薦人数

工学部・工学研究科から1名 (採用予定人数 全国で50名程度)

## 4 提出書類

- 1) 願書(別紙様式1、A4用紙3枚組、写真貼付、日本語で作成)  
※ PC作成の場合、ページ割り当てを崩さないように注意すること。
- 2) 推薦書(別紙様式2、A4用紙1枚、指導教員により作成)  
※ 前年度の成績評価係数を算出できない場合は、特に優秀と認める具体的な理由書(様式任意)を作成し、添付してください。
- 3) 成績証明書(学部以降、直近のものまで)  
※ 募集要項 2. 応募資格(3)の成績評価係数算出方法を参照の上、算出した係数を余白に鉛筆書きで記入すること。
- 4) 経済状況調書(令和2年4月1日現在で作成のこと)
- 5) 在留カードの写し(両面)
- 6) 私費外国人留学生身上書(指定用紙)
- 7) 家計状況申告書(指定用紙)  
※ 6)、7)は、令和2年4月以降に、他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要。

## 5 申請書類の交付及び提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係(中央棟3階)

## 6 締切日

令和2年4月15日(水)

令和2年度に併給不可の他奨学金について受給決定の者ならびに申請中(直接応募含む)の者については、選考対象外とします。

# 令和2年(2020年)度 JEES 留学生奨学金(修学)

## 募集・推薦要項

### (大学配布用)

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、奨学金事業の充実のため、民間企業や個人の方々のご寄付等を基金とし、その果実等を「JEES 奨学金」の運用に供している。これにより、「令和2年(2020年)度 JEES 留学生奨学金(修学)」の奨学生を下記により募集する。

#### 記

#### 1 目的

本奨学金は、日本の大学(大学院を含む)に在籍する、学業・人物ともに優秀な私費外国人留学生に対して奨学金を支給することにより、経済的不安の緩和・学習効果の向上に寄与することを目的とする。

#### 2 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- 令和2年4月に正規生として日本の大学(大学院を含む。以下「大学」という。)の学士課程2年次以上に在籍する私費外国人留学生。また、在留資格は「留学」であること。
- 採用された場合の受給期間(休学および留年期間を除く)が令和2年4月より1学年相当以上ある者。
- 学業成績優秀者(前年度の成績評価係数 2.60 以上)

※成績評価係数で表すことが出来ない場合は、特に優秀と認める理由を具体的に記載した別紙(様式任意)を提出すること。

#### 「成績評価係数の算出方法」(小数点第3位を四捨五入)

下表により[成績評価ポイント]を算出し、計算式に当てはめて計算

	成績評価				
		優	良	可	不可
4段階評価(パターン1)		優	良	可	不可
4段階評価(パターン2)		A	B	C	F
4段階評価(パターン3)		100~80点	79~70点	69~60点	59点~
5段階評価(パターン4)	100~90点	89~80点	79~70点	69~60点	59点~
5段階評価(パターン5)	S	A	B	C	F
5段階評価(パターン6)	A	B	C	D	F
<b>成績評価ポイント</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>0</b>

#### 「計算式」

$$([\text{評価ポイント3の単位数}] \times 3) + ([\text{評価ポイント2の単位数}] \times 2) + ([\text{評価ポイント1の単位数}] \times 1) + ([\text{評価ポイント0の単位数}] \times 0)$$

総登録単位数

- 本奨学金の受給期間中、本協会が実施する他の奨学金を受給せず、他の団体から受ける奨学金等の受給月額合計が50,000円以下である者。[貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学費免除及び一時金は除く]
- ボランティア活動や国際交流活動等の実績、またはこれらの活動への意欲のある者。
- 本奨学金受給終了後も、本協会に対して近況等を連絡する意思のある者。
- 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

#### 3 採用人数

50名程度

#### 4 支給内容

月額奨学金 40,000円

## 5 支給期間

令和2年4月より最長2年間。なお、支給期間内に在籍課程を修了し同一大学の上位課程に進学した者は、所定の手続きにより支給期間の終了まで継続受給できる。

## 6 応募・推薦方法

大学の長は、2 に挙げる応募資格に該当する者について、7 に挙げる応募・推薦書類を本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出するものとする。なお、推薦人数については、各大学3名以内とする。

## 7 応募・推薦書類

- |  |    |
|--|----|
| (1) 願書(別紙様式1。日本語で記載されたものに限る。)  | 1通 |
| (2) 応募者の写真(最近6ヶ月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) | 1葉 |
| (3) 推薦書(別紙様式2。推薦理由は、指導教官等が記入すること。)                                     | 1通 |

## 8 応募・推薦書類の提出期限

令和2年5月8日(金)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備のある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

## 9 選考方法及び結果の通知

理事長は、6 により推薦された者について本協会に設置する選考委員会に諮り、奨学生を決定する。結果は、令和2年7月中を目途に大学を通じて通知する。なお、採否に関する照会には応じない。

## 10 支給方法

本奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

## 11 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給終了後1か月以内に、所定の様式により大学を通じて本協会に提出すること。
- (2) 受給者は、学籍に変更があった場合、所定の様式により大学を通じて本協会へ遅滞なく届け出ること。
- (3) 受給者は、住所・連絡先に変更があった場合、大学在籍中は所定の様式により大学を通じて、大学卒業後は任意の様式により直接本協会へ遅滞なく届け出ること。
- (4) 本奨学金を受給した者は、自身の進路について、大学卒業時に所定の様式により、大学を通じて本協会へ報告すること。
- (5) 受給者は、本協会の要請に応じ、アンケート等への回答及び交流会等に可能な限り参加すること。

## 12 本奨学金の支給の休止または終了および決定取消

- (1) 受給者が大学を長期欠席(1か月以上)した場合は、本奨学金の支給を休止する。なお、休止事由が止んで、所定の様式により奨学金支給の再開を願い出たときは、5に記載した奨学金の支給期間内において奨学金の支給を再開することがある。但し、5の支給期間は延長しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、本奨学金の支給を終了する。
  - ① 大学を卒業、退学、休学または留年した場合。
  - ② 本奨学金受給者の義務を怠った場合。
  - ③ 募集・推薦要項の定める事項に該当しなくなった場合。
  - ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は、本奨学金の支給決定を取り消す。

## 13 その他(注意事項等)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、12 に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。
- (2) 本奨学金採用決定(本奨学金採用決定通知を大学が受領した時点)前に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて本協会に速やかにその旨報告しなければならない。また、本奨学金奨学生として採用された場合、受給期間終了まで本奨学金を辞退して他の奨学金を受給することはできない。
- (3) 所属大学の留学制度を利用して海外に留学する場合、長期欠席又は休学の扱いとならなければ支給を継続する。
- (4) 過去、本奨学金を受給した者は再度応募することはできない。

## 14 個人情報の取り扱い

### (1) 個人情報の管理

本協会は、本奨学金に関連して取得した願書・報告書等に記載される全ての個人情報を本協会の個人情報保護方針に基づき、細心の注意のもと管理・利用・破棄する。また、あらかじめ本人の同意がない限り、個人情報を他の第三者へ開示・提供しない。

### (2) 個人情報の利用目的

本協会は、本奨学金に関連して取得した個人情報を適切に管理し、下記以外の目的には利用しない。

- ①本奨学金の奨学生の選考のため。
- ②本奨学金支給事務のため。
- ③本奨学金授与式または交流会・インターンシップ等の開催時に利用するため。
- ④当協会実施の学生援助プログラムの案内や参加の際の連絡手段として利用するため。
- ⑤報告書、お礼状、近況報告等を事前に受給者本人からの承諾を受けた上で、当協会のホームページ等において広報目的に使用するため。

## 15 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人 日本国際教育支援協会 学生支援部 国際教育支援室  
〒105-0003 東京都港区西新橋 1-13-1 DLXビルディング 12階  
TEL: 03-5454-5274 FAX: 03-5454-5242 E-mail: [ix@jees.or.jp](mailto:ix@jees.or.jp)

以上

# －奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

## 1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）
- ・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。
- ・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

## 2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。
  - ・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。  
（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）
  - ・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。
  - ・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
  - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
  - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
  - ・相手方に失礼のないよう、記入欄の7～8割を目安に記入するようにしてください。
  - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら0）」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

## 3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

\*2020年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 私費外国人留学生身上調書

### 1. 身分・名前等

身分	学部 MC 年	年 DC 年	学部研究生 大学院研究生	学籍番号	
学科名 専攻名			指導 教員		研究室 TEL
氏名	(漢字 )				既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)			国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学					年 月 卒業・修了
東北大学 での移動 (新しい順番に)	在籍身分		在籍期間		
			年 月 ~ 現在		
			年 月 ~ 年 月		
住居 (○で囲む)	ユニバーシティ・ハウス青葉山		国際交流会館三条第一会館		
	ユニバーシティ・ハウス三条(Ⅱ・Ⅲ)		国際交流会館三条第二会館		
	ユニバーシティ・ハウス片平		ユニバーシティ・ハウス長町		
	国際交流会館東仙台会館				
	県・市営住宅・民間アパート(住所		)		

### 2. 家族状況 (母国の家族情報を含むこと。)

\*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

\*

\*2020年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

## 家計状況申告書

在籍	学部 年	学部研究生	学籍番号
	MC 年 DC 年	大学院研究生	
氏名			

### 家計状況

\* 2019年4月から2020年3月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

\* 2019年10月入学の方は、2019年10月から2020年3月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

収 入		支 出	
自己資金(預金)	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他( )	円	その他( )	円
合 計	円	合 計	円

特記事項(経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください)

-----

-----

-----

### 奨学金受給状況

\* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し (○で囲む)

\* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	
年 月 ~ 年 月	月額・年額 円	

### 授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

\* 該当箇所を○で囲む

2020年度	前期	全額免除	半額免除	申請中	申請したが不許可だった
2019年度	後期	全額免除	半額免除	-	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	-	申請したが不許可だった
2018年度	後期	全額免除	半額免除	-	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	-	申請したが不許可だった